

Mémoire 2024

第76回 朝日杯フューチュリティステークス (GI)



堂々たる完封劇で2歳マイル王誕生 アドマイヤズーム

堂々と押し切り、未勝利勝ちから一気のGI奪取となった。

阪神競馬場リフレッシュ工事により、レース史上初めて京都での開催となった朝日杯フューチュリティS。新馬、サウジアラビアロイヤルCと連勝のアルテヴェローチェ、黄菊賞を3馬身差で圧勝してきたミュージアムマイル、新潟2歳Sを制した2戦2勝のトータルクラリティらを中心に人気は割れ、混戦模様となっていた。

デイリー杯2歳S3着のダイシンラーが逃げたレースは600m35秒4、1,000mが60秒4のスローペースとなった。2番手にアドマイヤズームで、その直後にトータルクラリティとミュージアムマイル。馬群は密集したまま3、4コーナーを回っていく。3コーナー過ぎから徐々にダイシンラーに並びかけていったアドマイヤズームが、そのまま交わって先頭に立ちながら直線へ。満を持してスパートすると、あとは独壇場だった。馬場の真ん中をただ1頭、力強く伸びる。ミュージアムマイルが懸命に抜け出してくるが、その差は縮まらず、最後は2馬身半突き放してゴール。まさに完封勝利だった。

10月の新馬では4着に敗れたが、続く未勝利を3馬身差で楽勝。

京都の芝内回り1,600mで行われたその未勝利勝ちのタイムが、前日に外回り1,600mで行われたデイリー杯2歳S (GII) よりも速かったことなどから「良い競馬ができると思い、参戦を決めました」と明かした友道康夫調教師。「新馬の時から期待していた馬ですから、予定通りここまできて勝ててホッとしています」と安堵した。

このレース歴代最多タイの4勝目となった川田将雅騎手は、2番手から押し切った走りについて「とても難しいタイプの馬なので、とにかく気持ちよく走り続けることを優先しました」と説明。同じような競馬で押し切った未勝利勝ちの感触から「4コーナーで勝つと思いました」と自信に溢れた騎乗を振り返った。

第76回朝日杯フューチュリティステークス (GI)

12/15 京都競馬場 1,600m(芝・右・外) 晴・良 16頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	アドマイヤズーム	牡	2	56	川田 将雅	友道 康夫	1:34.1	⑤	②②
2	ミュージアムマイル	牡	2	56	C.デムーロ	高柳 大輔	2 1/2	②	③④
3	ランスオブカオス	牡	2	56	吉村誠之助	奥村 豊	2 1/2	⑨	⑨⑩
4	ダイシンラー	牡	2	56	横山 典弘	梅田 智之	2	⑩	⑪⑪
5	アルテヴェローチェ	牡	2	56	武 豊	須貝 尚介	3/4	①	⑫⑬

アドマイヤズーム
栄光の蹄跡

2

市場取引馬
モーリス

アドマイヤズーム

タイワズーム(ハーツクライ)
2022.2.28 生 千歳・社台ファーム



牡2
鹿
56

かわだ ゆうが
川田 将雅
1985.10.15 生 B型
近藤 旬子氏
友道 康夫(栗東)

2024.11.10 京都
未 勝 利
14ト 2人 1(一)
56* 川田 将雅
芝1600良 1:33.9

2024.10.5 京都
メイクデビュー京都
15ト 1人 4(一)
56* 川田 将雅
芝1600良 1:34.7

